

## アドベント第4週

### 「クリスマスの贈りもの」

黒田 朔



クリスマス、楽しく、うれしいメッセージが届く中に、アドベントにも悲しいメールも届きます。

「12月14日、お母さんが亡くなり、17日、夫が亡くなりました。」自分に人生で一番大切だった二人が、それも、3日間のうちに、亡くなるなど想像さえできません。しかし、この現実の中で彼女は手紙を続けます。「でも、この悲しさを通して私たちは家族として愛し合い、支え合うことのすばらしさを味わうことができ、何より

も、お母さんも夫も強いクリスチャンだったので、ふたりがキリスト共に永遠の平安の中にいることを知っています。でも、とてもさみしい！」

クリスマスは私たちの悲しみが悲しみだけで終わらず、地上の悲しみは永遠の望みによって縁どられ、私たちが経験する悲しみはやがて誰かを支える慰めとして活かされます。これがクリスマスを迎える一人一人に送られる神様からのクリスマスの贈りものです。

「神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人たちを慰めることができます。」(Ⅱコリント 1:4)